

令和3年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) 国補・県単

事業名	農地環境整備事業（国補）		事業箇所	甲府市上帯那～下帯那町	地区名	帯那棚田の里	事業主体	山梨県																																								
計画期間	当初計画 H23～H28	現計画 H23～R3	変更計画 H23～R6	(2) 評価項目【事業を巡る社会経済情勢等の変化】 (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)																																												
総事業費	600 百万円	766 百万円	1,050 百万円	①地域・住民の意向状況 鳥獣害防止施設をはじめ、用排水路、農道等の各路線については、早期の整備が求められている。																																												
(1) 事業の概要				②産業・経済情勢 なし																																												
①事業目的及び効果 本地区は、甲府市北部の山間に位置し、傾斜地特有の棚田で稲作を中心とした農業が営まれている。 しかしながら、地区内の農道は狭く未整備で水路は老朽化しているため作業効率が悪いことに加え、近年はシカ、イノシシ等の野生獣による農作物被害も増加していたことから、営農意欲の減退などの原因となっていた。 このため、用排水路、農道などの農業生産基盤の整備と併せて、鳥獣害防止施設の整備を行い、農作業の効率化・省力化に取り組み、営農環境を改善する。また、耕作放棄地を活用した菜の花プロジェクトやじゃがいもの収穫祭などによる地域農業の活性化を推進する。 □主要目標 ○中山間地域等の農村生活・生産機能の向上 ・農業所得増加額 1,437千円/ha ≧ 1,322千円/ha※ (※評価基準値) □副次目標 ○農業用排水能力の向上 ○集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上 □副次効果 ○遊休農地の解消 ○重要プロジェクトとしての位置付け（やまなし農業基本計画）				③国等の方針 なし																																												
②事業概要				④上位計画・関連事業計画等 やまなし農業基本計画（令和元年12月策定）																																												
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>現計画</td> <td>→</td> <td>変更計画</td> </tr> <tr> <td>用排水路</td> <td>L=2,553m</td> <td>→</td> <td>L=2,553m</td> </tr> <tr> <td>農道</td> <td>L=2,966m</td> <td>→</td> <td>L=2,966m</td> </tr> <tr> <td>鳥獣害防止施設</td> <td>L=5,500m</td> <td>→</td> <td>L=8,000m</td> </tr> <tr> <td>管理施設</td> <td>一式</td> <td>→</td> <td>一式</td> </tr> </table>					現計画	→	変更計画	用排水路	L=2,553m	→	L=2,553m	農道	L=2,966m	→	L=2,966m	鳥獣害防止施設	L=5,500m	→	L=8,000m	管理施設	一式	→	一式	⑤自然環境条件等 なし																								
	現計画	→	変更計画																																													
用排水路	L=2,553m	→	L=2,553m																																													
農道	L=2,966m	→	L=2,966m																																													
鳥獣害防止施設	L=5,500m	→	L=8,000m																																													
管理施設	一式	→	一式																																													
③全体計画				⑥その他 なし																																												
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和2年度まで</td> <td>令和3年度 (評価実施年度)</td> <td>令和4年度以降</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">現計画</td> <td>工事内容 用排水路 L=836m 農道 L=1,746m 鳥獣害防止施設 L=4,301m 管理施設 一式</td> <td>用排水路 L=1,717m 農道 L=1,220m 鳥獣害防止施設 L=1,199m</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>741 百万円</td> <td>25 百万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">変更計画</td> <td>工事内容 用排水路 L=836m 農道 L=1,746m 鳥獣害防止施設 L=4,301m 管理施設 一式</td> <td>用排水路 L=420m 農道 L=420m 鳥獣害防止施設 L=800m</td> <td>用排水路 L=1,297m 農道 L=800m 鳥獣害防止施設 L=2,899m</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>741 百万円</td> <td>55 百万円</td> <td>254 百万円</td> </tr> </table>					令和2年度まで	令和3年度 (評価実施年度)	令和4年度以降	現計画	工事内容 用排水路 L=836m 農道 L=1,746m 鳥獣害防止施設 L=4,301m 管理施設 一式	用排水路 L=1,717m 農道 L=1,220m 鳥獣害防止施設 L=1,199m	/	事業費	741 百万円	25 百万円	変更計画	工事内容 用排水路 L=836m 農道 L=1,746m 鳥獣害防止施設 L=4,301m 管理施設 一式	用排水路 L=420m 農道 L=420m 鳥獣害防止施設 L=800m	用排水路 L=1,297m 農道 L=800m 鳥獣害防止施設 L=2,899m	事業費	741 百万円	55 百万円	254 百万円	(3) 評価項目【評価時点の費用対効果分析】																									
	令和2年度まで	令和3年度 (評価実施年度)	令和4年度以降																																													
現計画	工事内容 用排水路 L=836m 農道 L=1,746m 鳥獣害防止施設 L=4,301m 管理施設 一式	用排水路 L=1,717m 農道 L=1,220m 鳥獣害防止施設 L=1,199m	/																																													
	事業費	741 百万円		25 百万円																																												
変更計画	工事内容 用排水路 L=836m 農道 L=1,746m 鳥獣害防止施設 L=4,301m 管理施設 一式	用排水路 L=420m 農道 L=420m 鳥獣害防止施設 L=800m	用排水路 L=1,297m 農道 L=800m 鳥獣害防止施設 L=2,899m																																													
	事業費	741 百万円	55 百万円	254 百万円																																												
				<table border="1"> <tr> <td></td> <td>項目</td> <td>着手時点</td> <td>変更計画時点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>総事業費</td> <td>600 百万円</td> <td>1,050 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工期</td> <td>H23 ~ H28</td> <td>H23 ~ R6</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">経済効果率性</td> <td>評価基準年</td> <td>H22</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">費用</td> <td>1164 百万円</td> <td>1,786 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>1164 百万円</td> <td>1,786 百万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">便益</td> <td>2,042 百万円</td> <td>2,667 百万円</td> </tr> <tr> <td>作物生産効果</td> <td>727 百万円</td> <td>981 百万円</td> </tr> <tr> <td>走行経費節減効果</td> <td>360 百万円</td> <td>471 百万円</td> </tr> <tr> <td>国産農産物安定供給効果</td> <td>0 百万円</td> <td>130 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他※</td> <td>955 百万円</td> <td>1,085 百万円</td> </tr> <tr> <td>B/C</td> <td>1.8</td> <td>1.5</td> </tr> </table>						項目	着手時点	変更計画時点		総事業費	600 百万円	1,050 百万円		工期	H23 ~ H28	H23 ~ R6	経済効果率性	評価基準年	H22	R3	費用	1164 百万円	1,786 百万円	建設費	1164 百万円	1,786 百万円	便益	2,042 百万円	2,667 百万円	作物生産効果	727 百万円	981 百万円	走行経費節減効果	360 百万円	471 百万円	国産農産物安定供給効果	0 百万円	130 百万円	その他※	955 百万円	1,085 百万円	B/C	1.8	1.5
	項目	着手時点	変更計画時点																																													
	総事業費	600 百万円	1,050 百万円																																													
	工期	H23 ~ H28	H23 ~ R6																																													
経済効果率性	評価基準年	H22	R3																																													
	費用	1164 百万円	1,786 百万円																																													
		建設費	1164 百万円	1,786 百万円																																												
	便益	2,042 百万円	2,667 百万円																																													
		作物生産効果	727 百万円	981 百万円																																												
		走行経費節減効果	360 百万円	471 百万円																																												
		国産農産物安定供給効果	0 百万円	130 百万円																																												
		その他※	955 百万円	1,085 百万円																																												
	B/C	1.8	1.5																																													
	④特記事項（関連事業概要等） なし				費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上																																											
⑤これまでの評価状況（平成22年度事前評価） なし				※その他は、品質向上効果、営農経費節減効果、維持管理費節減効果、保健休養効果、災害防止効果																																												

## 2.評価シート

<p><b>(4) 評価項目【これまでの計画変更等の概要】</b></p> <p>基盤整備により収穫祭などのイベントにも農地が活用され、都市住民との交流が活発化したことで地区内の営農意欲が高まったことから、未整備な農道、用排水路の整備箇所を追加し、さらなる農地の有効活用を図るため、その整備に係る事業量、事業費を増とした。</p> <p>また、本地区の一部区間において国土調査がなされておらず、境界確定の遅れに伴い、用地の取得に時間を要したことから、計画期間を5年間延長した。</p> <table style="width:100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">当初</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: center;">現計画</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td style="text-align: right;">600百万円</td> <td></td> <td style="text-align: right;">766百万円</td> </tr> <tr> <td>計画期間</td> <td style="text-align: right;">5年延長</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用排水路</td> <td style="text-align: right;">L=2,259m</td> <td></td> <td style="text-align: right;">L=2,553m</td> </tr> <tr> <td>農道</td> <td style="text-align: right;">L=2,310m</td> <td></td> <td style="text-align: right;">L=2,966m</td> </tr> </table>		当初	→	現計画	総事業費	600百万円		766百万円	計画期間	5年延長			用排水路	L=2,259m		L=2,553m	農道	L=2,310m		L=2,966m	<p><b>④事業期間の変更理由及び進捗予定</b></p> <p>地元から事業実施を強く望まれている鳥獣害防止施設の施工範囲の拡大に伴い工期を3年間延長する。 その他の工程についても計画的かつ効率的な実施に努め、令和6年度の完了を目指す。</p> <p><b>⑤今後の事業執行における留意点</b> なし</p>
	当初	→	現計画																		
総事業費	600百万円		766百万円																		
計画期間	5年延長																				
用排水路	L=2,259m		L=2,553m																		
農道	L=2,310m		L=2,966m																		
<p><b>(5) 評価項目【事業進捗状況及び見込み】</b></p> <p><b>①進捗率</b> 別表のとおり。 (現計画) 100%→(実績) 100%→(変更計画) 75.8%</p> <p><b>②進捗率実績が計画と相違している理由</b> 鳥獣害防止施設の整備を進める一方で、未整備範囲に被害が移り、地区にとって大きな課題となっていた。このため、鳥獣害防止施設の施工範囲の拡大に伴う検討とより効果的で維持管理が容易となるよう設置位置について、地元関係者との調整に日数を要したことによる。</p> <p><b>③総事業費の変更内容</b></p> <table border="1" style="width:100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>変更工種等</th> <th>事業費増減</th> <th>変更理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">農道</td> <td style="text-align: center;">209百万円の増</td> <td>既設農道は蛇行箇所が多く、石積みにはらみ出し等の不安定箇所が見られたことから、安全性の確保や表土の流出を防止するため、土留め、路側構造物が必要となった。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">鳥獣害防止施設</td> <td style="text-align: center;">75百万円の増</td> <td>獣害の状況に的確に対応するため、施工範囲を拡大することとした。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">284百万円の増</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	変更工種等	事業費増減	変更理由	農道	209百万円の増	既設農道は蛇行箇所が多く、石積みにはらみ出し等の不安定箇所が見られたことから、安全性の確保や表土の流出を防止するため、土留め、路側構造物が必要となった。	鳥獣害防止施設	75百万円の増	獣害の状況に的確に対応するため、施工範囲を拡大することとした。	合 計	284百万円の増		<p><b>(6) 評価項目【環境負荷等への配慮】</b> なし</p> <p><b>(7) 評価項目【コスト縮減の可能性】</b> なし</p> <p><b>(8) 評価項目【代替案立案の可能性】</b> なし</p> <p><b>(9) 所管部の今後の方針</b>      継続・<u>見直し継続</u>・その他( ) (理由) 安心できる営農環境の改善や、地域の活性化に不可欠な基盤整備であることから、事業を継続し、令和6年度完了を目指す。</p>								
変更工種等	事業費増減	変更理由																			
農道	209百万円の増	既設農道は蛇行箇所が多く、石積みにはらみ出し等の不安定箇所が見られたことから、安全性の確保や表土の流出を防止するため、土留め、路側構造物が必要となった。																			
鳥獣害防止施設	75百万円の増	獣害の状況に的確に対応するため、施工範囲を拡大することとした。																			
合 計	284百万円の増																				

### ○別表-進捗率（事業費ベース）

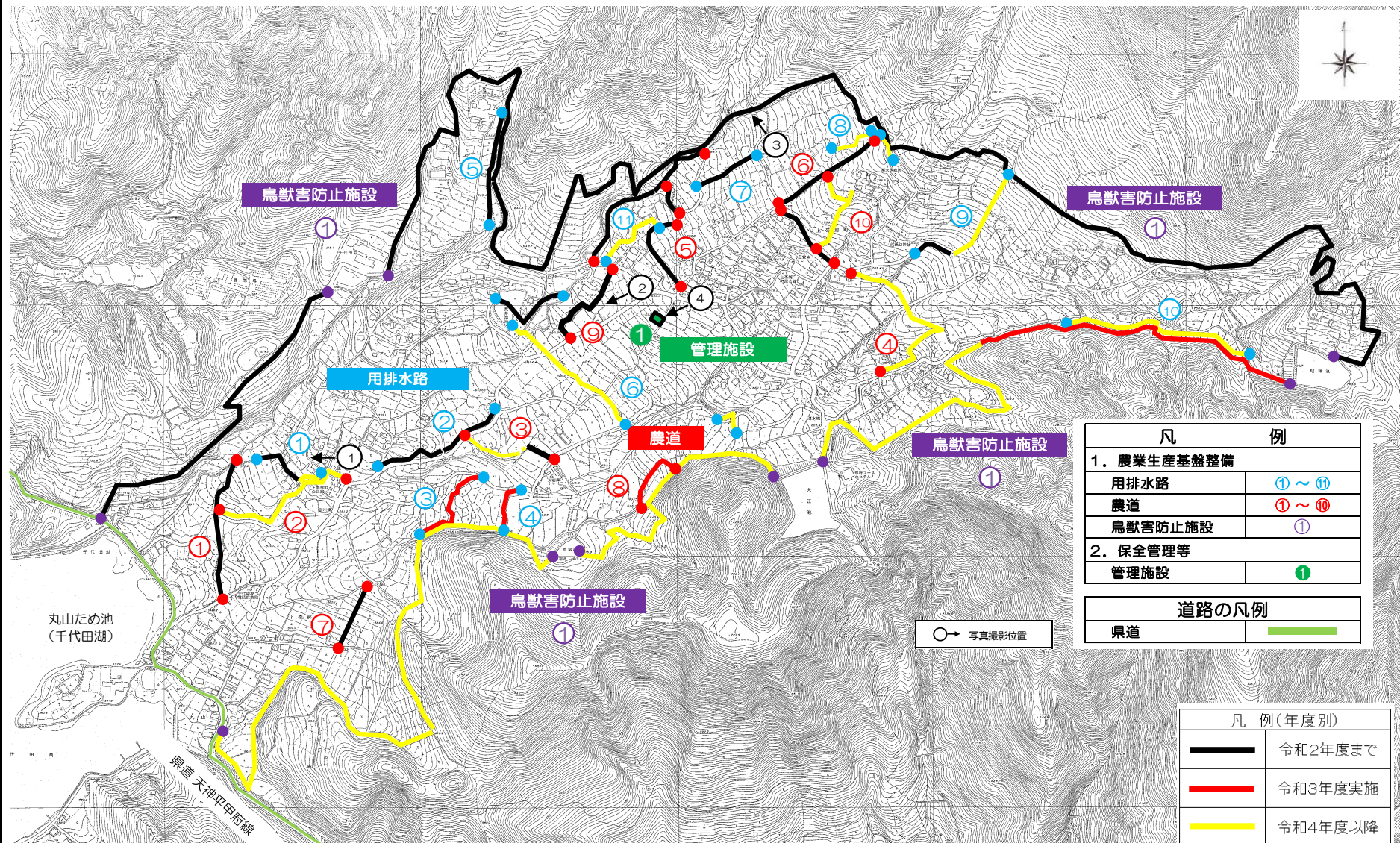
算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100    【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100    【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100      単位：％

	年度	*H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	*R3	R4	R5	R6
	現	計画	2.9	15.9	27.7	39.4	51.2	62.9	72.1	81.1	88.9	96.7	100		
実績		2.9	24.4	31.6	37.3	46.0	53.1	64.0	71.2	85.6	96.7	100			
変更計画												75.8	86.3	94.1	100

\*事業着手年度又は評価年度

\*R3年度の実績は見込み

### 3.添付資料シート(1)





### 3. 添付資料シート（2）



整備前

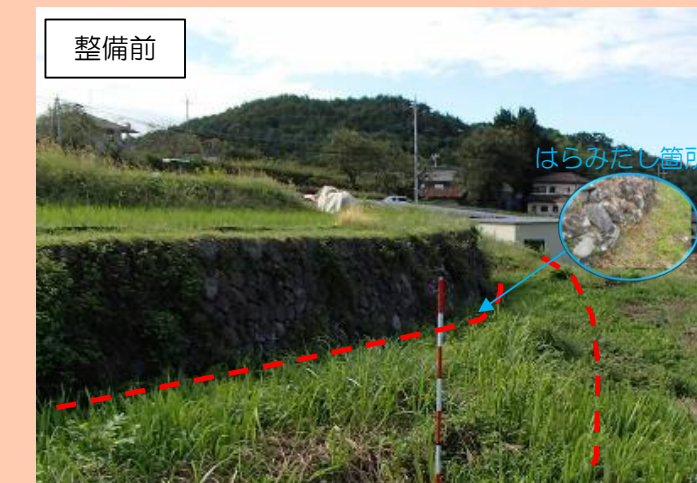
①用排水路



整備後

老朽化が進み、漏水しているため下流農地への用水供給に支障を来していた。

老朽化した水路を改修することにより、安定した用水が確保された。



整備前

②農道



整備後

当初計画は既設石積みを利用したの農道の整備を予定していた。

蛇行箇所が多く既設石積みのはらみ出し等の不安定箇所も見られたことから、土留め、路側構造物を設置し、安全性や走行性、耕作可能な農地の確保を考慮した線形にするとともに、表土の流出も防止された。



### 3. 添付資料シート（3）

#### ③鳥獣害防止施設

整備前



シカによる農作物被害により、耕作者の営農意欲の低下を招いていた。



整備後



鳥獣害防止施設の整備により農作物被害が軽減されるとともに、耕作者の営農意欲が向上した。

#### ④管理施設



菜の花プロジェクトやじゃがいもの収穫祭など、県内外から多くの人々が訪れ、イベントを通じ都市農村交流が促進されている。



### 3.添付資料シート(4)

鳥獣害防止施設(③整備後)



河川以南エリアでは自衛の簡易柵が点在しているが、着手時点での鳥獣被害の聞き取りでは比較的深刻な状況ではなかった。近年では鳥獣害防止施設の整備を進める一方で、未整備範囲に被害が移り、被害の深刻化や簡易柵の老朽化に伴い、十分な獣害防除が出来ないことから、鳥獣害防止施設の施工範囲を拡大し、的確な獣害対策を行うこととした。

既設 鳥獣害防止施設(①自衛 簡易)



既設 鳥獣害防止施設(②自衛 簡易)



凡	例
当初計画	— (purple line)
変更計画	— (red line)
河川	— (cyan line)

道路の凡例	
県道	— (green line)

○ → 写真撮影位置

#### 4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H23	22,000	測量設計 一式	2.1%
H24	165,000	用排水路 L=139m、農道 L=426m、農地の簡易整備 一式 測量設計 一式、用地買収一式	17.8%
H25	55,000	農道 L=114m、農地の簡易整備 一式、測量設計 一式	23.0%
H26	44,000	用排水路 L=64m、農道 L=193m、農地の簡易整備 一式 測量設計 一式、用地買収一式	27.2%
H27	66,000	用排水路 L=125m、農道 L=207m、鳥獣害防止施設 L=646m 測量設計 一式、用地買収一式	33.5%
H28	55,000	用排水路 L=162m、鳥獣害防止施設 L=724m 測量設計 一式、用地買収一式	38.8%
H29	83,600	用排水路 L=137m、農道 L=317m、鳥獣害防止施設 L=594m 測量設計 一式、用地買収一式	46.7%
H30	55,000	農道 L=157m、鳥獣害防止施設 L=498m 測量設計 一式、用地買収一式	52.0%
R1	110,000	農道 L=205m、鳥獣害防止施設 L=1,169m 測量設計 一式、用地買収一式	62.4%
R2	85,253	用排水路 L=209m、農道 L=127m、鳥獣害防止施設 L=670m 測量設計 一式	70.6%
R3	55,000	用排水路 L=420m、農道 L=420m、鳥獣害防止施設 L=800m 測量設計 一式、用地買収一式	75.8%
R4	110,000	用排水路 L=697m、農道 L=400m、鳥獣害防止施設 L=1,000m 測量設計 一式、用地買収一式	86.3%
R5	82,147	用排水路 L=400m、農道 L=300m、鳥獣害防止施設 L=1,000m 測量設計 一式、用地買収一式	94.1%
R6	62,000	用排水路 L=200m、農道 L=100m、鳥獣害防止施設 L=899m	100.0%
合計	1,050,000		